



さいたま市選挙キャラクター
みらいワン

さいたま市 明るい選挙 推進たより



編集・発行
さいたま市明るい選挙推進協議会
さいたま市選挙管理委員会

「さいたま市明るい選挙推進協議会」と「さいたま市選挙管理委員会」との協働事業として発行しています。

■至上命題は、投票率の下げ止まり

松本 正生（さいたま市明るい選挙推進協議会会長）



昨(2019)年は、まれにみる選挙イヤーでした。4月の統一地方選挙に始まり、7月の参議院の通常選挙、さらに埼玉県では8月に知事選挙、10月の参議院の補欠選挙と、ほぼ半年の間に4つの選挙が続きました。さいたま市における投票率は、7月の参院選の48.11%、10月の参院補選の21.71%を上下に、4月の市議選が38.16%、8月の知事選は33.83%で、いずれの選挙に関しても5割を上回ることはありませんでした。

投票率の絶対値もさることながら、課題は、その経年変化に存在します。さいたま市議選の直近4回の推移をみると、2007年の47.44%から、2011年の43.60%、2015年の40.39%へと下がり続け、2019年には38.16%で4割を下回るに至りました。回を重ねるたびに最低記録を更新する。この悪循環を、どこかで断ち切らなければなりません。

差し当たっては、来(2021)年に予定される、さいたま市長選挙が試金石となるでしょう。同市長選の前回、2017年の投票率は31.44%で、やはり最低を更新しました。地域社会を日々支えていらっしゃる、さいたま市明るい選挙推進協議会のみなさま、投票率を下げ止めるための良いアイデアを、どうぞお寄せください。

さいたま市明るい選挙推進協議会は、 明るい選挙を推進するための活動を行っています。

活動の目的

- ①選挙違反のないきれいな選挙を行うこと
- ②有権者がこぞって投票に参加すること
- ③有権者が普段から政治と選挙に関心をもち、候補者の人物や政見、政党の政策などを見る目を養うこと

明るい選挙 とは？

有権者が主権者としての自覚を持って進んで投票に参加し、選挙が公明かつ適正に行われ、私たちの意思が政治に正しく反映される選挙をいい、明るい選挙推進運動は、特定の政党、政策、候補者を支持したり、反対したりする政治活動や選挙運動とは、はっきり区別されるものです。

進学や就職などで引っ越ししたら住民票を移しましょう！

令和元年度

明るい選挙啓発ポスター конкурール



小学校、中学校、高等学校合わせて1,425作品の応募がありました。

各区における第1次審査を通過した134作品について、さいたま市明るい選挙推進協議会委員が審査を行い、次の20作品が、さいたま市入選となりました。さらに県の審査で5作品が入選、3作品が佳作となり、うち1作品が『公益財団法人明るい選挙推進協議会会長・都道府県選挙管理委員会連合会会長賞』を受賞しました。

小学校の部



小川 侑芽さん
東大成小学校 6年(北区)



横山 恵多さん
横竹小学校 6年(北区)



遠藤 由唯さん
芝原小学校 5年(緑区)



大野 正敬さん
西原小学校 4年(岩槻区)



服田 唯花さん
柏崎小学校 6年(岩槻区)

中学校の部



植田 紗佑希さん
宮原中学校 1年(北区)



小曾戸 桢和さん
宮原中学校 2年(北区)

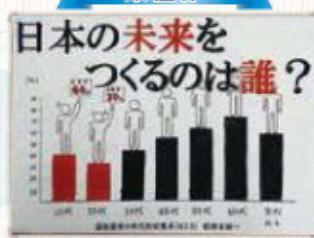


前野 里沙さん
宮原中学校 2年(北区)



松村 雛さん 宮原中学校 1年(北区)

県佳作



田島 結太さん 宮原中学校 2年(北区)



宮田 來愛さん
土呂中学校 2年(北区)



伊藤 里紗さん
第二東中学校 3年(大宮区)



小堀 由愛さん
大宮北中学校 2年(大宮区)



青山 来羽さん
桜山中学校 3年(岩槻区)



吉田 和真さん
慈恵寺中学校 2年(岩槻区)

県入選

生田 菜々美さん
大宮光陵高等学校 1年(西区)伊藤 愛藍さん
大宮光陵高等学校 1年(西区)

県入選

樋熊 あかりさん
大宮光陵高等学校 1年(西区)岡 くるみさん
大宮北高等学校 1年(北区)

県入選

露崎 早織さん
大宮北高等学校 1年(北区)

生田 菜々美さん にインタビュー

Q

どんな意味を込めてポスターを作成したか?

A

若い人も政治にかかわることができるので、「みんな選挙に行こう」という気持ちを込めた。

Q

選挙について考えていることは?

A

様々な世代の人が良い未来をつくるために選挙を行っている。今はまだ選挙に行けないが、18歳になったら選挙に必ず行きたい。

令和元年11月10日(日)に、令和元年度さいたま市明るい選挙啓発ポスターコンクールの入選者をお招きして、表彰式を行いました。これらのコンクールの選考には、さいたま市・区明るい選挙推進協議会の委員も参加しました。



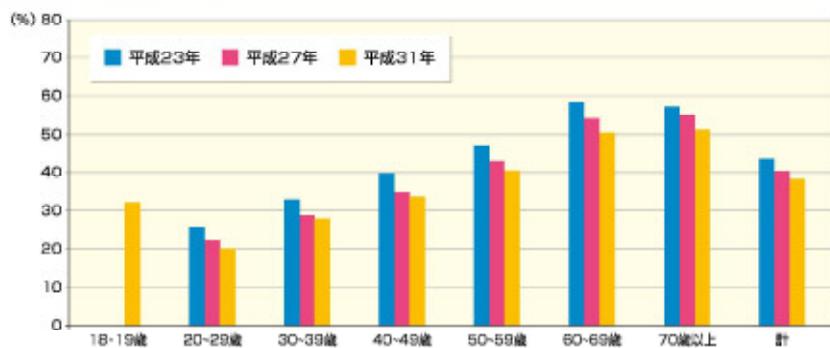
「児童・生徒等」も投票所に同伴できます。

選挙権を持たない18歳未満の児童・生徒等も一緒に投票所に入ることができます。家族等と投票所に行ったことがある人は、政治や選挙への関心が高まる傾向があるという分析もあることから、児童・生徒等が有権者になった時の投票率向上が期待されます。

※投票所内が混雑しているなど、状況によっては、同伴者が入場できない又はお待ちいただく場合があります。



さいたま市議会議員一般選挙年代別投票率



平成31年4月7日に、さいたま市議会議員一般選挙(埼玉県議会議員一般選挙も同日)が執行されました。投票率はどの年代においても前回よりも下回りました。また若年層の投票率は、最も投票率の高い70歳以上と比較すると半分以下となりました。

寄附禁止のルールを守って、明るい選挙を実現しましょう!



- 政治家は有権者に「**寄附を贈らない!**」
- 有権者は政治家に「**寄附を求めない!**」
- 政治家から有権者への「**寄附は受け取らない!**」



研究集会を行いました。

11月10日(日)に浦和コミュニティセンターにおいて、さいたま市明るい選挙推進協議会と選挙管理委員会との共催で研究集会を実施しました。(参加人数:32人)

△研究集会のテーマ△

「投票率の向上について
～効果的な啓発活動を話し合おう～」



選挙啓発資料の紹介

(副読本や啓発動画等)

▶ 中学生向け副読本「選挙Book」



▶ 選挙啓発動画



【さいたま市明るい選挙推進協議会広報委員】 ◎…委員長 ○…副委員長 ☆…市明推協副会長

◎ 馬場 洋三 ○ 大河戸 千鶴子 ☆ 古賀 宏子 ◎ 澤池 一信 ◎ 川上 強
・ 福島 進 さいたま市選挙管理委員会事務局

【問い合わせ先】 さいたま市選挙管理委員会
さいたま市浦和区常盤6-4-4

TEL 048-829-1773 FAX 048-829-1994